気化放熱式涼風扇

AQUA COOL mini

AQC-500M

取扱説明書

・このたびは、涼風扇アクアクールミニをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
・ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み頂いて正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
・本書内容に関しては製品改良の為予告なしに変更することがあります。

警告表示について

この説明書では、装置の運用上で生じてはならない万一の事故を、未然に防ぐための注意事項を記述しています。
とくに誤った取扱によって想定される危険や損害の程度を2段階の【警告マーク】によって示しています。
いずれも安全に関する重要な事項ですから必ず守ってください。

警告 ⚠

この表示は人が死亡または重傷を負う差し迫った危険または危険性が想定される事項です。

注意 ⚠

この表示は人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される事項です。

図記号の説明

思わぬ事故の恐れがありますので取扱中にしてはいけないことを示します。

感電の恐れがありますので指示に従ってください。

事故の恐れがありますので、手を触れてはいけないことを示します。

危険防止のため取扱中に適切な処置をとるよう指示にしたがってください。

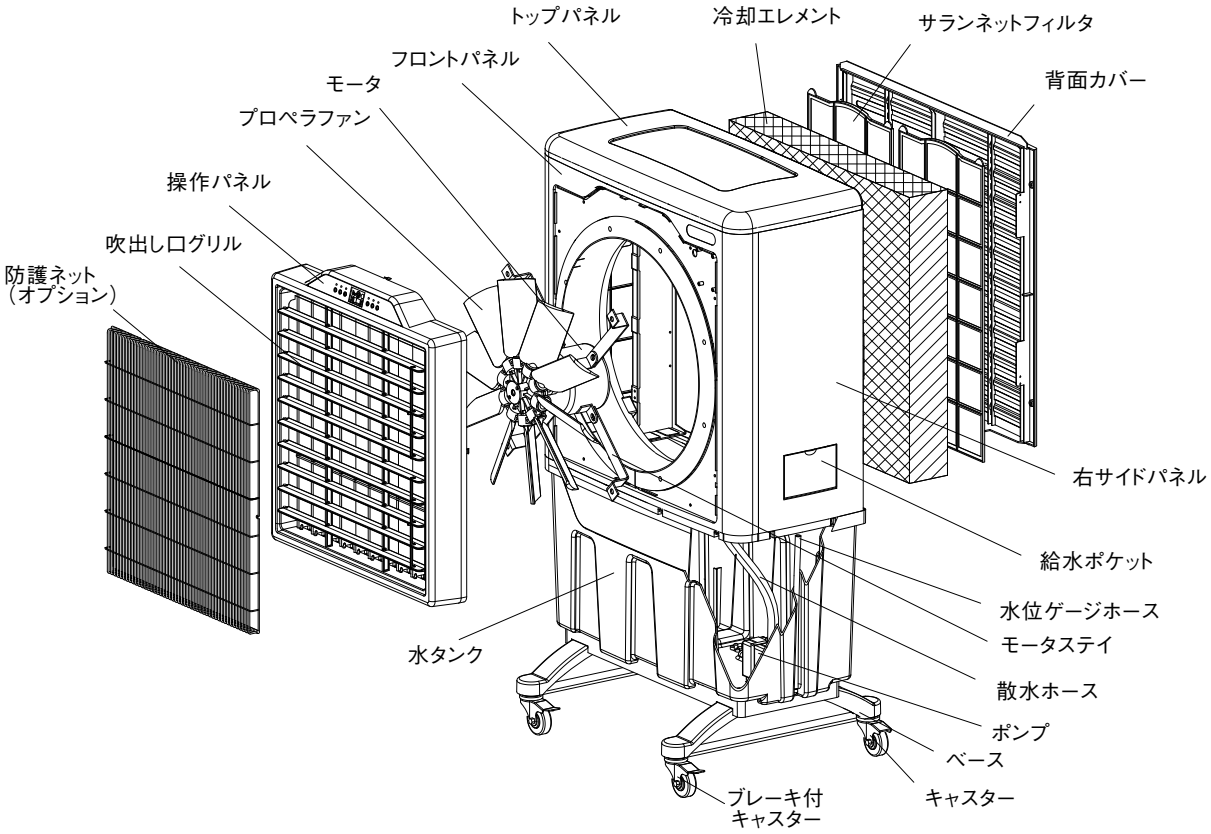
安全上のご注意

ご使用開始時	⚠ 警　告	
		本機は屋内専用です。屋外や雨や雪の降りかかる場所では使用しないでください。
		アースは必ず取付けてください。ガス管、水道管、避雷針や電話のアース線と併用しないでください。
		火を近づけないでください。燃える危険があります。
	⚠ 注　意	
		電源電圧がAC100V±10Vの範囲になっていることを確認して下さい。電圧が極端に低いか、または高い状態で連続運転すると機器の破損や事故のもとになります。
		電源周波数が50Hzと60Hzで共通ではご使用になれません。製品ラベルに記載されている周波数の電源で必ず使用してください。
		本機の消費電力以上の容量のある電源でご使用ください。

ご使用開始時	❗	万一に備え、漏水しても問題ないところに設置してください。
	❗	涼風機の背面は十分空けてください（最低30cm）。狭すぎると、運転音が高くなったり、モータが過負荷で焼損する原因になります。
	❗	給水には必ず水道水をお使いください。井戸水や工業用水を使用すると、臭気発生のおそれがあります。
	❗	本体は必ず水平に設置してください。斜面に設置すると漏水することがあります。 設置後は、本体移動用のキャスターのストッパーをかけて固定してください。
	❗	換気不十分な、閉めきった狭い室内で使用しないでください。湿度が過度に上昇することがあります。
	❗	給水配管接続は確実に行ってください。接続に不備があると周辺を濡らし、漏電などの危険が増大します。

ご使用期間中	⚠ 警　告	
	⚠	濡れた手でスイッチを操作しないでください。感電の原因となることがあります。
	✋	運転中に冷却エレメントを外したり、吹出口や吸込口に指や棒などを絶対に入れないでください。
	❗	小さいお子様がいる場所では吹出口に防護ネット（オプション）を取付けてご使用ください。
	⊘	運転中は本体を動かさないでください。漏水や感電などの原因となるおそれがあります。
	❗	異常を感じたときは（異臭、漏水、焦げ臭い等）、すぐに運転を中止してください。
	⊘	分解や修理は資格のある技術者以外の人が行ってはいけません。改造は危険ですので絶対に行わないでください。
	⚠ 注　意	
	⚠	電源プラグ･コードは破損しないようご注意ください。コードに重いものを載せたり、引張ったりすると火災や感電の原因となります。
	⚠	保守点検時は、必ず電源プラグを抜いて、安全を確認してから実施してください。
	⚠	保守点検等の際、電気部品に水がかからないようご注意ください。電気部品の絶縁が劣化し、感電の原因となることがあります。
	❗	ポンプの長時間空転は故障の原因となります。水が不足すると水位センサが働きポンプを自動停止しますが、水不足のアラームが表示された場合は、できるだけ早く給水するか、涼風運転を停止して送風運転でご使用ください。
	❗	運転中は換気を十分に行ってください。閉めきったところでは、湿度が過度に上昇し、冷却効果も悪くなります。
	❗	本体の上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。落下、転倒などでケガや感電、故障の原因となることがあります。
	❗	日々の運転終了時には、臭いの発生を防ぐために排水することをお薦めします。
	❗	自動給水の場合は、日々の運転終了時に、必ず給水元栓を閉めてください。
	❗	長期の使用休止に入るときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

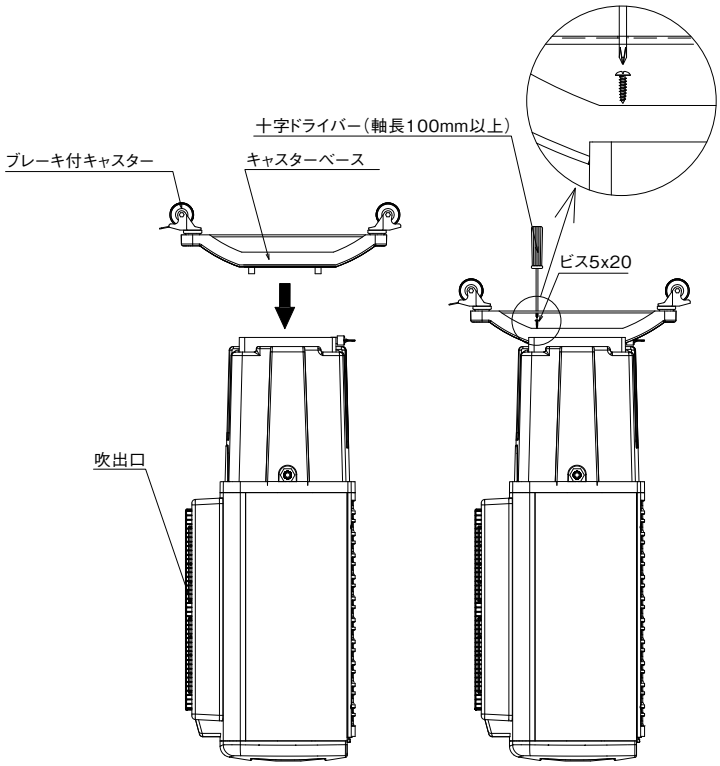
1 主要パーツの名称



2 ご使用開始にあたって

組　立

■ キャスターベースの取付



キャスターベースの取付け方

キャスターが取付けてあるベースの2本の突起をタンクの底の穴に差し込んでタンクの底にタッピングビス5x20（付属品）で固定します。ブレーキ付のキャスターが風の吹出口側(涼風機の前面）になるようにします。

■ 吹出口グリル、ルーバーの組立、調整

●吹出し口グリルの横軸ルーバーは、輸送中の破損を防止するため、ルーバー中間軸を軸受から外して梱包してあります。ご使用になる前に下の手順で横軸ルーバーの組立、調整を行ってください。

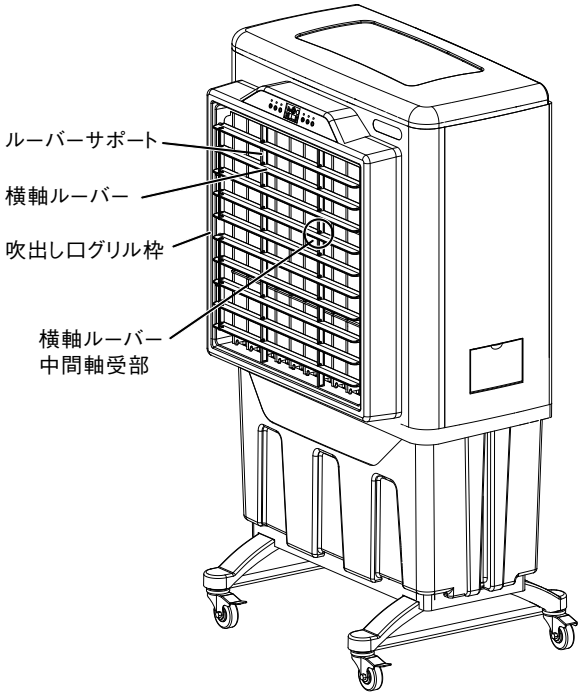
① 下方向に傾倒している横軸ルーバーを水平近くまで回転軸回りに回して引き起こします。

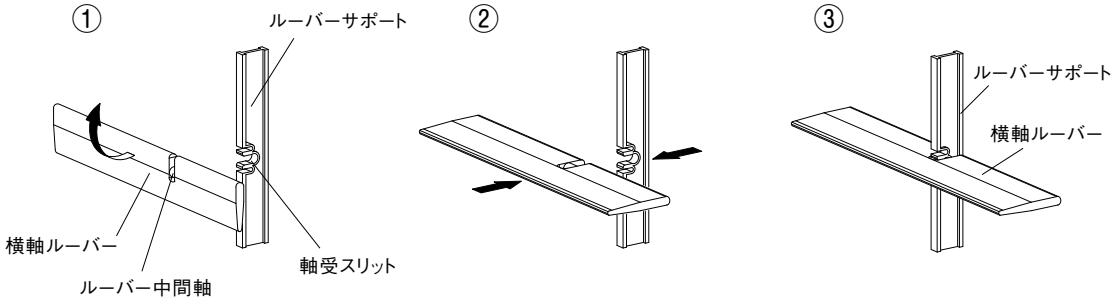
※注意

5枚のルーバーが連結されていますので、連結されている全てのルーバーが同じ角度になるように、ブレードを一枚ずつ徐々に引き起こして下さい。 一枚のルーバーだけを大きな角度で回転させようとすると過度の荷重が加わり破損することがあります。

② ルーバーサポートの背面を指で支えながらルーバーサポートの軸受スリットにルーバー中間軸を押し込んではめ込みます。

③ 完成状態に組付け終わりましたらルーバーがスムーズに動くことを確認してください。





■ フロートバルブの取付け（自動給水の場合）

●冷却エレメントを取外します。

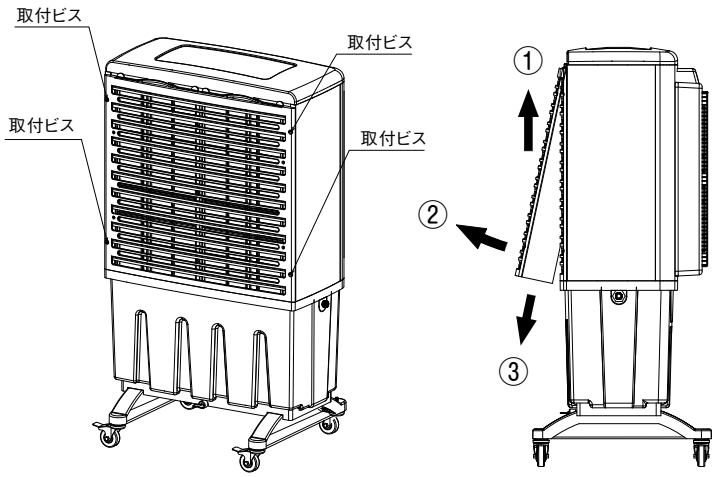
冷却エレメントの取外し方

背面カバー両側面にある4本のビスを緩めます。背面カバー（サランネットフィルタと冷却エレメントも一体に組み立てられています。）の取外しは図を参考にして次の手順で行ってください。

①上に引上げます。

②下側を手前に引き出します。

③全体を下げると取り外せます。

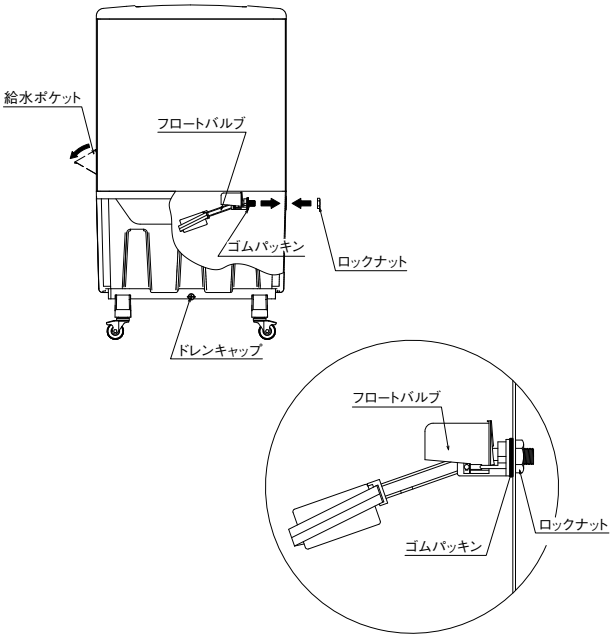


●本体の中に付属しているフロートバルブを水タンクの側面に取付けます。

フロートバルブの取付け方

冷却エレメントを取外し、機械の内部に付属しているフロートバルブを給水ポケットの反対面にある取付け穴に取付けます。製品の出荷時は取付け穴にシールが貼ってありますのでシールをはがしてください。フロートバルブを水タンクの内側から取付け穴に差し込み、外側からロックナットを締めつけます。

※自動給水しない場合、フロートバルブは出荷時の機内に格納された状態のままにして運転してください。



●冷却エレメントを取外しと逆の手順で取付けます。

本体設置

次のような場所での使用は避けてください。

使用不適当な場所	理　　由
閉めきった狭い空間	湿度が過度に上昇することがあります。
換気設備が不十分	湿度が過度に上昇することがあります。
設置面が斜面	水平にしないと漏水の原因となったり、ポンプ揚水不良の原因となります。
涼風機の背面に十分なスペースがとれない	空気の吸込み抵抗が大きく、モータが過負荷になることがあります。
漏水が重大な問題を起こす場所	給水接続や取扱に不具合があると、漏水することがあります。
屋外の雨などがかかる場所	電気系統の故障、感電の原因となります。

・設置後、本体が簡単に動かないように必ずキャスターのストッパーをかけてください。

電源接続

⚠ 電源の電圧、容量、周波数を確認してください

・アースを必ず取付けてください。ガス管、水道管、避雷針用アースまたは電話用アースには接続しないでください。アース線が不完全な場合は、感電の原因となることがあります。
・本機の製品ラベルに記載してある周波数以外の周波数の電源ではご使用になれません。

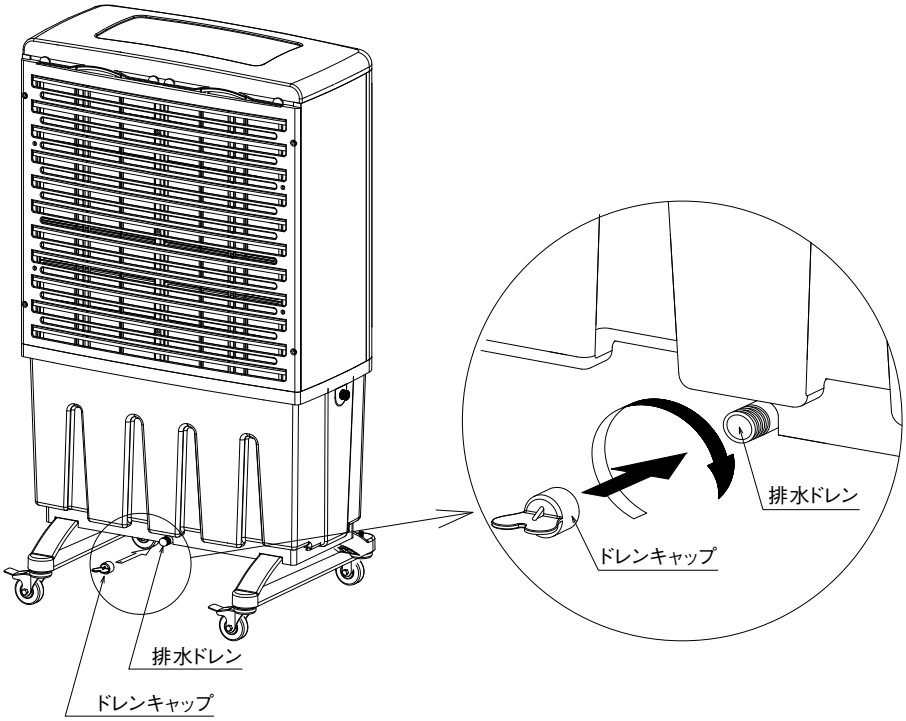
給　　水

⚠ 補給水は必ず水道水をお使いください

・井戸水や工業用水を使用すると、冷却エレメントや散水器内で藻や細菌が増殖しやすく、冷却効率が低くなったり、臭気発生の原因となるおそれがあります。

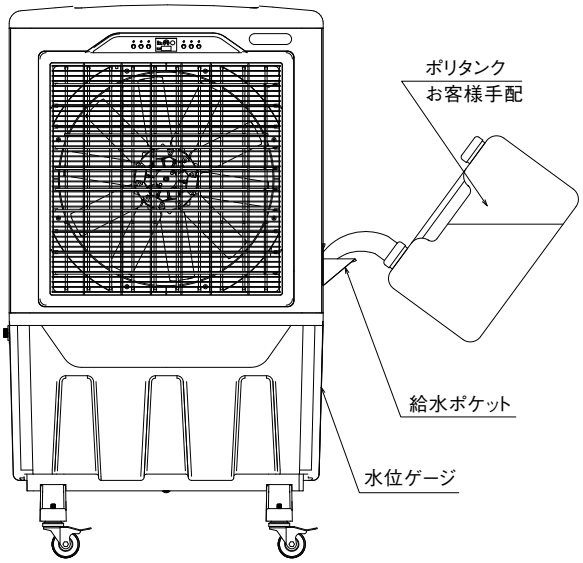
⚠ 給水をする前に水タンクの下部にある排水ドレンのキャップを取付けて、水が漏れないようにしてください。

※出荷状態ではドレンキャップは付属品の袋に入っていますので本機をご使用になる前に必ず取付けてください。
※排水する場合はドレンキャップを取外して行います。



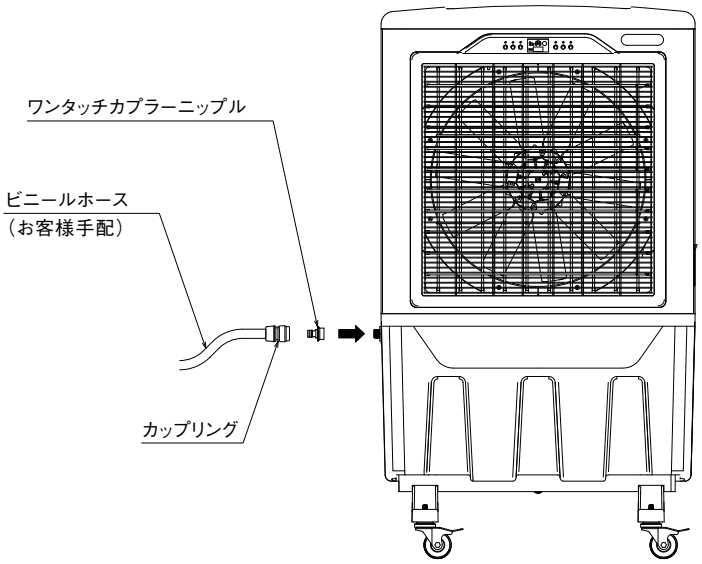
一般的な給水方法

給水ポケットの蓋を手前に引き出して、ポリタンクやバケツ等で水道水を給水してください。タンクの側面に水位ゲージがついていますので、水位が上限を超えないように確認しながら給水してください。
最大で70ℓの水を入れることができます。



自動給水方法

フロートバルブの端部が13オスネジになっていますので、ホースニップルやワンタッチカプラー等を取付けて、水道ホースを接続して下さい。水道圧は0.2MPa程度でご使用ください。ホース接続は抜けないように確実に行ってください。接続が不十分ですと、周辺を濡らしたり、漏電の危険性が増します。



3 運転方法

■ 運転前チェック

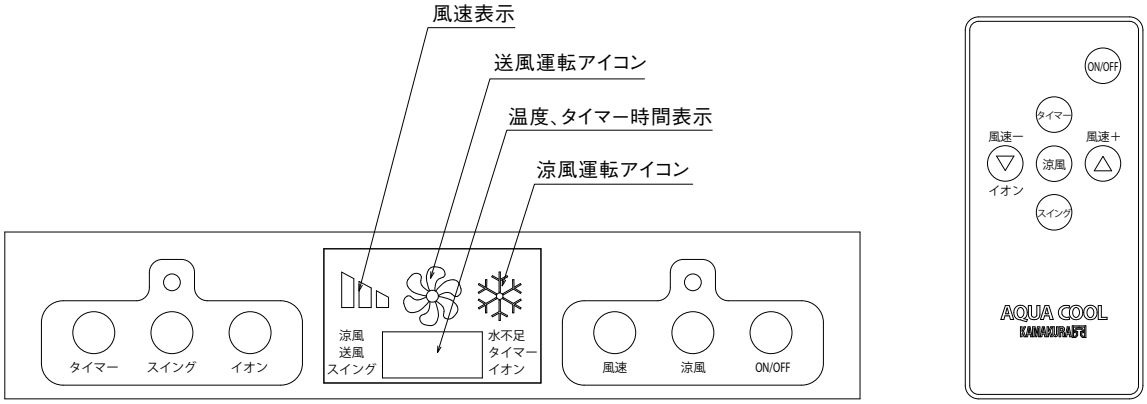
⚠ 電源プラグを抜いてチェックしてください

1. 本体が水平で、確実にキャスターがロックされているか確認します。
2. 水タンクに水が十分あるか水位ゲージを確認します。
3. 本体または給水配管から水漏れがないか確認します。

涼風運転のスタート時に高速、または中速運転をすると、風口から水滴が飛ぶ場合があります。涼風運転では、低速で1分以上運転してから風速を切り替えてください。

■ 操作パネルのボタンの機能と操作パネルの表示について

操作パネル　　リモコン



ON/OFF	電源をつないで、このボタンを押すと運転を開始します。運転モードと風速は直前の運転状態と同じになります。最初の運転の場合は、デフォルト状態で中速の涼風モードとなります。運転をスタートすると操作パネルの風速表示が点灯になります。運転状態でこのボタンを押すと全てのプロセスを終了して電源をオフします。(ファン、ポンプ、イオン発生器、水位センサーを停止します。) 操作パネルには温度だけが表示されます。
涼　風	送風運転中にこのボタンを押すと、涼風運転に切り替わります。(ポンプがスタートします。) 涼風モードがオンの時、モニターライトと「涼風アイコン」が点灯になります。涼風モードがオフの時、「送風アイコン」が点灯になります。

風　速	操作パネルの「風速」ボタンを押すと順番に1-2-3-1-2-3と切り替わります。風速は操作パネルに風速表示に示されます。表示は右から左に1、2、3速（低速、中速、高速）です。運転中にこのボタンを押すと、ファンはレベル1（低速）、レベル2(中速）、レベル3(高速）に切り替わります。
スイング	送風または涼風運転状態で、このボタンを押すと、吹出口のルーバーが水平方向に55度の範囲でスイングします。ボタンを押すごとにスイングと停止を交互に繰り返します。スイングしている時は操作パネルの「スイング」の文字のライトが点灯し、停止するとライトが消えます。
イオン	涼風機が運転中の時、操作パネルの「イオン」ボタンを押すとイオン機能をオン、オフします。イオン発生器が起動すると「イオン」文字のライトが点灯します。
水不足	水タンク内の水位が下限値になるとポンプを停止し、「水不足」文字のライトが点滅します。
タイマー	「タイマー」ボタンを押して数値を入力すると運転開始と運転停止の時間を設定できます。設定時間の単位は1時間です。設定時間は最長で24時間です。設定時間になると涼風機は自動的にオンまたはオフします。運転中に設定する場合は運転停止タイマーに、停止中に設定すると運転開始タイマーになります。「タイマー」ボタンを押すと「タイマー」表示が点滅します。液晶画面に表示される数字が設定したい時間になるように「タイマー」ボタンを押して調整します。設定時間の数値を変更後、5秒後に「タイマー」ライトが点滅から点灯に替わりタイマー機能が開始されます。数値表示はタイマーの設定時間の表示から温度表示に切り替わります。
タイマーの キャンセルの方法	次のいずれかの方法でキャンセルできます。 ●データを0.0に設定します。 ●「タイマー」ライトが点滅している時に、「ON/OFF」ボタンを押します。 ●「タイマー」ライトが点灯している時に、「ON/OFF」ボタンを2回押します。涼風機をリスタートするのと同じになります。

※電源がオフの状態では「涼風」「風速」「スイング」「イオン」の操作はできません。「水不足」も表示されません。

■ リモコンのボタンの機能について

ON/OFF	運転の開始と停止をコントロールします。
涼　風	涼風機能の開始または停止を切り替えます。
風速 ー	運転中にこのボタンを押すと、ファンは低速側に切替り、風速レベル1（低速）まで下がります。更に押すとイオン機能のオン、オフ入力に替わります。更に押すと風速レベル1（低速）←→イオン機能オン、オフ入力に交互に切り替わります。
風速 ＋	運転中にこのボタンを押すと、ファンはレベル1（低速）、レベル2(中速）、レベル3(高速）に切り替わります。ボタンを押すごとに1-2-3-1-2-3の順序で切り替わります。
スイング	送風または涼風運転状態で、このボタンを押すと、吹出口のルーバーがスイングまたは停止します。ボタンを押すごとにスイングと停止を交互に繰り返します。
タイマー	このボタンを押して数値を入力すると運転開始と運転停止の時間を設定できます。

4 快適にご使用いただくために

最初に使用する場合、冷却エレメントに含まれる樹脂の臭いがすることがあります。一日程度、涼風運転をすると減少します。水交換を頻繁に行なうと、より早く解消されます。

日常の管理

■ 換気を十分に

・アクアクールミニは水が気化して空気を冷やすため、室内湿度を上げる方向に働きます。
・換気の不十分な狭い場所では湿度が過度に上昇し、カビ発生などの弊害が生ずる場合があります。
・窓や扉を十分に開け外気の出入りを容易にしてください。換気扇などの強制換気装置と併用すると効果的です。
・周辺の湿度があまり高くなりすぎますと、冷却効果が得られなくなります。そのような時には涼風運転を停止し、送風のみでお使いください。

■運転終了時の排水

・日々の運転終了時は水タンク内の水を排水することをお薦めします。排水しないで長期間使用すると雑菌が繁殖して不快な臭いを発生させることがあります。排水は水タンク下部のドレンキャップを反時計方向に回して取外して行ってください。

■サランネットフィルタ、冷却エレメント、水タンクの清掃

・サランネットフィルタや冷却エレメントに埃や汚れが付着すると風量が少なくなり涼風効果が低減します。定期的に清掃を行ってください。また、冷却エレメントや水タンクが汚れると雑菌が繁殖し易くなります。柔らかいブラシを使用して水道水で洗ってください。

シーズン終了と使用再開

■終了時

・水タンクの水は、排水ドレンキャップを抜いて完全に排水してください。
・冷却エレメントや水タンクなどを清掃後、よく乾燥させます。
・電源プラグをコンセントから抜いて、乾燥した場所に保管してください。
・冬季は凍結しないようにして保管して下さい。

■使用再開時

・使用再開前には必ず点検･清掃を実施してください。清掃は前項の「日常の管理」を参照して行ってください。清掃により、より快適にお使いいただけます。

5 異常の原因と処置

症　　状	原　　因		処　　置
スイッチを入れてもファンが作動しない	電源が入っていない （電源プラグがコンセントに接続されていない）		電源を確認する。
	電気系統の異常	回路の接点不良･短絡 ファンモータ過負荷または故障	修理を依頼する。
吹出空気が冷たくならない 冷却エレメントが全くまたは十分濡れない	水が不足している		水を補給する。 フロートバルブ位置を調整する。本体を水平にする。
	ポンプの動作不良	ポンプの故障	修理を依頼する。
		ポンプの目詰まり	ポンプ周辺を清掃する。
	吸込み周辺空気の湿度が高すぎる	換気不足 その場所の水蒸気発生が多い 天候不良で室内外ともに湿度が非常に高い	窓や扉を開け、十分換気する。 換気ファンを設ける。 送風のみの運転とする。
本体からの水漏れ	オーバーフロー	フロートバルブ設定不良	フロートバルブ位置を調整する。
		フロートバルブ不良	修理を依頼する。
	給水系統の締付け不良		漏水部接続をやり直す。
	排水系統の不良	ドレンキャップの締付け不良	
		パッキン不良	部品を交換する。
		部品の破損	修理を依頼する。
振動や騒音の発生	ファンおよびその他の部品	部品損傷または締付け不良	
	サランネットフィルタ、冷却エレメントの目詰まり		清掃する。
	涼風機の背面に十分なスペースがない	空気の吸込み抵抗が大きく、モータやプロペラに過度の負荷がかかっている	背面の空間を30cm以上にする。

6 故障かな？と思ったら

『異常の原因と処置』を参照して処置しても復旧しないときは、製品のお買い求め先、または当社最寄りの営業所へ修理を依頼してください。

⚠ 注　　意

分解禁止

有資格者または修理技術者以外の人が修理したり、分解することは絶対にしないでください。また、勝手に改造等を加えてはいけません。

使用禁止

『異常の原因と処置』を参照して処置しても復旧しないときは、ただちに電源プラグを抜いてください。

MEMO

7 製品仕様

ファン径		φ500mm	
電　源	相x電圧	1φxAC100V	
	周波数	50Hz	60Hz
	消費電力	450W	570W
ファンモータ定格出力		250W	250W
ファン回転速度		3速（低、中、高）	
吹出空気（測定方法：JIS C9601）	最大風量	117㎥/min	128㎥/min
	平均風速	6.7m/s	7.3m/s
騒音値		63dB	65dB
冷却能力		8.8kW	9.7kW
水使用量		13ℓ/h	14ℓ/h
水タンク容量		最大70ℓ	
給水方式		貯水タンク手動給水または自動給水（水道接続）	
乾燥質量/稼動質量		30/100kg	
吹出口寸法		540x540mm	
製品寸法(幅x奥行x高さ)		750x565x1320mm	
冷却エレメント寸法(幅x奥行x高さ)		645x100x675mm	

・上記仕様は吸込み空気が温度35℃、相対湿度40%を条件とします。

8 製品保証について

1　この製品の保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証期間内に取扱説明書にしたがって正常な使用状態で生じた故障は、無料修理致します。

2　保証期間内でも次の場合は有料修理になります。使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障や損傷。異常電圧・火災・地震・雷・風水害またはその他天災地変などの外部要因による故障や損傷。

3　保証期間後の修理は、お買い求め先、または当社最寄りの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、ご要望により有料修理をいたします。修理を依頼されるときは、製品の形式をお知らせください。

4　当社は、アクアクールミニの補修性能部品を製造打ち切り後7年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてはお買い求め先、または当社最寄りの営業所、事業部へご相談ください。

株式会社 鎌倉製作所

東京都港区北青山2-7-11　TEL03-3403-4353　http://www.kamakura-ss.co.jp

東京営業所	03-3403-4308	名古屋営業所	052-733-2811	静岡営業所	054-238-6864
仙台出張所	022-257-0319	広島営業所	082-291-4771	長野営業所	026-283-9220
大阪営業所	06-6768-0345	福岡営業所	092-441-6460	KES事業部	03-6857-4508

※改良のため仕様・性能等は予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

2011.6（2-1 版）2,000Y